

輸送経済 8/10

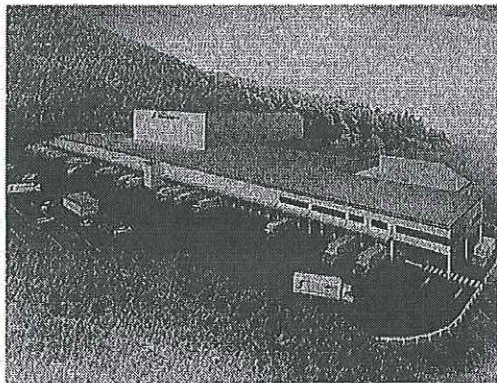
THE YUSO-KEIZAI

第2905号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

平成22年
(2010)
(火曜日)
週刊

厚木に大型食品C 全国展開の足掛かり

シモハナ物流



最先端の自動化設備を導入する、同社最大規模の厚木センター(完成予想図)

シモハナ物流(本社・広島県坂町、下花実社長)は、食品を中心とした大規模汎用型センター「厚木センター」を平成二十三年二月にしゅん工する。

関西、中四国、中部など西日本を中心に展開してきた同社にとって、初の関東進出。同センターのしゅん工を全国展開の足掛かりにする。

敷地面積は約四万七千

平方メートル、二階建てで延

べ床面積は

約三万九千

五百平方

メートル。冷凍、

超冷凍、パ

ーシャル、

冷蔵、常温

の五温度帯

に対応。冷

凍荷物など

のためのド

ックシェル

は、

ター六十四基と常温荷物用などに十四バスを設けた。

外食や食品企業を中心とした利用を見込む。総事業費は六十三億円。二十三年度の売り上げは十二億五千億円を目指す。

高能力シングルピッキングやトータルピッキングに対応したピッキング自動倉庫により、仕分けの自動化を促進。高速・高精度の物流を実現する。

同社は同センターに続き、今後埼玉への進出で関東二拠点構想を検討。一層の全国物流網の整備を狙う。

所在地は、神奈川県厚木市棚沢字市島山一六五。東名高速厚木ICから七・五キロ、二十四年開通予定の圏央厚木IC(仮称)から三・五キロ(西元 洋介)